

第10回全国消防救助シンポジウムの開催

参事官

1. 概要

消防庁では、平成19年12月18日(火)に千代田区日比谷公園の「日比谷公会堂」において、救助技術の向上及び啓発並びに救助隊員等の相互の交流を図り、我が国における救助体制の一層の充実を図ることを目的として、第10回全国消防救助シンポジウムを開催しました。

今回のシンポジウムは、災害現場活動時や各種訓練時における安全管理の重要性やその教育体制等に関して、「救助の安全管理について～技術・知識の伝承～」というテーマを掲げ、2,000人を超える消防救助関係者等が全国から参加しました。

当日は、平成13年9月11日の「米国同時多発テロ事件」による世界貿易センタービルの崩壊から1か月間、現地の指揮本部を務めたニューヨーク市消防局のフランク・クラザーズ氏から、テロ以降に学んだ緊急対応の教訓についてご講演いただいたほか、柏崎市消防本部の救助隊員から平成19年7月16日に新潟県等において発生した「新潟県中越沖地震」における原子力発電所火災及び救助活動の概要を報告していただきました。そのほか、救助における安全管理体制や教育訓練体制、救助活動事例等の発表や安全管理に関するパネルディスカッションを行いました。

本シンポジウムの内容については、後日記録集を発行し、消防本部等に配布する予定です。

2. 内容

(1) 講演

フランク・クラザーズ
(ニューヨーク市消防局
第一副局長)

「9・11テロ以降に学んだ
緊急対応の教訓」

(2) 緊急報告

林 秀樹
(柏崎市消防本部 柏崎市消防署
警防第二救助係 主任)

「新潟県中越沖地震《原子力発電所火災と救助活動》」

(3) 事例研究発表

全国の消防本部等の応募の中から選ばれた6事例の発表が行われました。なお、発表者及び演題は以下のとおりです。

田鍋 憲一 (東京消防庁)

「東京消防庁における各種安全管理の取組について」

坂田 憲 (川崎市消防局)

「NBC災害における簡易防護服の着装・離脱要領及び訓練要領の提案」

杉本 宗生 (飯田広域消防本部)



フランク・クラザーズ
ニューヨーク市消防局
第一副局長の講演

「急傾斜地における負傷者の救出事例と安全管理について」
長嶋 健太 (愛知県防災航空隊)

「地上救助隊と航空消防隊の山岳救助連携活動における安全管理」

柳田 武司 (守口市門真市消防組合消防本部)

「耐火造建物火災における救助活動について」

岩本 誠 (鳥取県東部広域行政管理組合消防局)

「救助の安全管理について」

(4) パネルディスカッション

「安全管理の継承について」と題し、意見交換が行われました。なお、参加者は以下のとおりです。

・アドバイザー

フランク・クラザーズ (ニューヨーク市消防局 第一副局長)

・パネリスト

折居 基宣 (北上地区消防組合消防本部 警防課 警防係長)

古屋 明弘 (横浜市安全管理局 警防部 警防課 現場指揮係長)

張田 俊宏 (金沢市消防局 警防課 担当課長補佐)

石田 秀欣 (神戸市消防局 警防部 警防課 警防係長)

小池 和成 (徳島市消防局 警防課 課長補佐)

小清水 勉 (北九州市消防局 総務部 訓練研修センター 主査)

・オブザーバー

坂野 優 (消防庁 国民保護・防災部 参事官補佐)

永堀 満 (消防庁 消防大学校 教務部 助教授)

・司会者 (コーディネーター)

田島 松一 (東京消防庁 警防部 救助課長)

3. おわりに

今回のシンポジウムには、全国から定員を超える参加希望があり、盛会のうちに終了することができました。

消防庁では、本シンポジウムが全国の救助隊員等の情報交流の場として積極的に活用され、今後の救助技術の向上に大きな役割を果たしていくことを期待しています。



パネルディスカッション「安全管理の継承について」